

ソーラーウィーク大賞 応募内容説明書

京都府福知山市における 市民参加型の太陽光発電所・防災拠点づくり



丹波・丹後とつながる電気

たんたんエナジー

代表取締役 木原浩貴

たんたんエネルギーの基本情報



【会社名】たんたんエネルギー株式会社

【設立日】2018年12月10日

【資本金】5,100万円（資本準備金を含む）

議決権保有割合 立命館ソーシャルインパクトファンド:33.3%

合同会社サンエネルギー:9.5%

福知山市:4.8%

個人:52.4%（この問題に取り組む研究者ら）

【取締役】

木原浩貴（京都府地球温暖化防止活動推進センター副センター長）

根岸哲生（たんたんエネルギー株式会社）

浅井薫（京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局次長）

田浦健朗（気候ネットワーク 事務局長/市民エネルギー京都 代表理事）

豊田陽介（気候ネットワーク上席研究員/TERAエネルギー 取締役）

的場信敬（龍谷大学政策学部教授）

【監査役】

清水仁志（税理士）

市民出資で地域再エネ活用+防災力強化



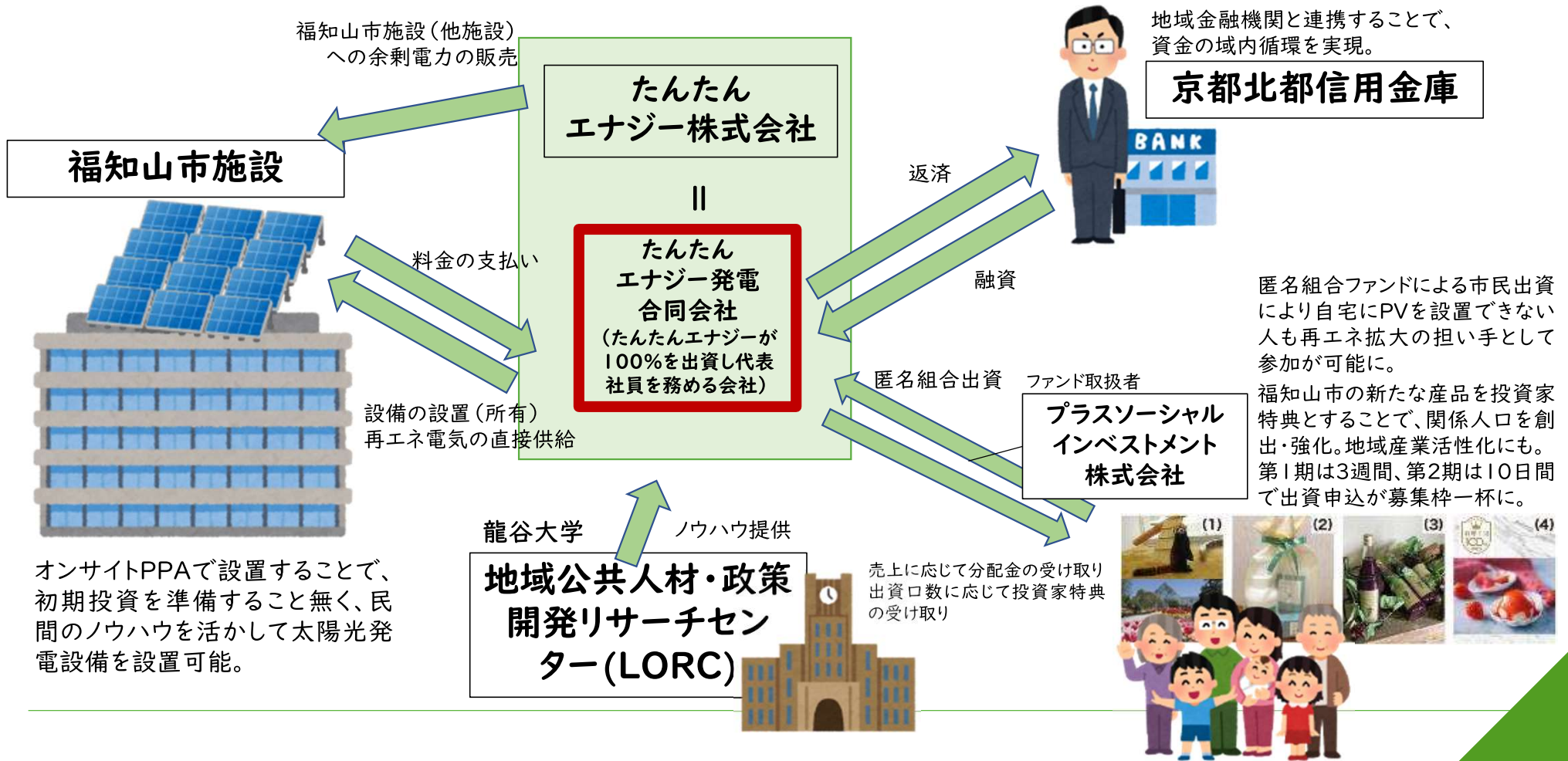
福知山市、京都北都信用金庫、プラスソーシャルインベストメント株式会社、龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンターとの5者連携協定を締結し、市民出資により公共施設に太陽光発電を設置する取組を実施。

蓄電池やV2Bシステムも導入して防災力強化に貢献。第2期からは市内事業者に工事を依頼。



設置時期	設置場所	PV規模	防災設備
第1期 (2021 年度)	学校給食センター	156kW	
	三段池公園 体育館	167kW	蓄電池 (10kWh)
	武道館	28kW	蓄電池 (4kWh) V2Bシステム
第2期 (2022 年度)	南陵中学校	103kW	蓄電池 (14kWh) V2Bシステム
	夜久野支所	64kW	蓄電池 (14kWh) V2Bシステム
合計		518kW	

事業スキーム (市民出資型オンサイトPPA)



「モデル」としての波及

設置施設で環境教育を実施



環境省近畿事務所の事例集にも掲載

相次ぐ他自治体からの視察・ヒアリング



今後、太陽光発電等を急速に普及させるためには、地域裨益型であり、地域に受容されることが不可欠。本事例は、その一つのモデルになりうると考えられる。

メディア掲載
(京都新聞7/27)